



# 南奥羽戦国 注目の武将とゆかりの地

**生きるが死なぬかの大舞台**  
**伊達 政宗 青葉神社**  
 ◇宮城県仙台市青葉区青葉町7-1

米沢城生まれで、のちの仙台藩初代藩主。奥羽に点在した小国を、軍事力を背景に併合。こまめな手紙作戦で、相手を裏切らせてからの軍事進攻、神出鬼没の用兵戦術と奥羽を席卷した。敵の城を攻め落とすと、生き残りの者を撫で斬りするなどキレ夕面もあった。天下人を相手に、命をかけた大芝居を何度もうったギリギリ好きの大役者。

祭神 伊達政宗

**自分を信じきる強い気持**  
**上杉 謙信 上杉神社**  
 ◇山形県米沢市丸の内1丁目4-10

自身を毘沙門天の化身として、宗教的力リスマ性を発揮し、戦国最強ともいわれる上杉軍団を作り上げた。柔軟・迅速・想定外と、虚をつく用兵術で圧倒。鉱山資源の開発、日本海の交易事業で、戦国屈指のお金持ち。アルコール依存症と言われ、かなりの酒好きで、馬上盃が残されている。生涯独身だったため女性説まである。

祭神 上杉謙信

**時はきた！雌伏の時からの、雄飛へ**  
**須田 長義 興国寺**  
 ◇福島県伊達市梁川町字大町2-49

上杉の先陣。上杉の会津移封後、北の強敵「伊達政宗」の備えとして、重要拠点である「梁川城」を任された。「松川の合戦」では年齢が22歳と若く、伊達軍からはあなどられていたが、伊達の先陣「片倉小十郎」にも一歩もひげをどらず活躍。この活躍はフックではなく、大坂の陣では一番の激戦といわれる「鳴野の戦い」で大活躍した。

祭神 伊達長義

**ブレーキのきかない機関車で突っ走る**  
**伊達 成実 巨理神社**  
 ◇宮城県巨理郡巨理町字旧館32

「大森城」に生まれ「伊達政宗」の1歳下のいとこ。武の面から政宗をささえた名将。「一歩も後退しない」意味をこめて「毛虫」をあしらった兜を着用。陣羽織の柄も将棋の「香車」をあしらっている。政宗と仲がよかったが、家中の意見を政宗に言う立場だったため、政宗とけんかをして家出している。「成実記」を書くなど文才にも優れている。

祭神 伊達成実

**「風流」「雅」「粋」に生きる**  
**前田 慶次郎 堂森善光寺**  
 ◇山形県米沢市万世町堂森375

京都で一流の風流人として活躍した。学問好きの「直江兼統」と意気投合し上杉に仕官した。「最上侵略戦」では、黒鎧に金の数珠、金のひょうたん、鉄砲二挺をもって戦にでた。「最上撤退戦」では、切腹を覚悟した「直江兼統」をひきとめ、追撃してくる最上・伊達軍を五人で突き返した。「上杉景勝」と会ったとき、「殺蔵院ひよっと齋」と名乗った。

祭神 前田慶次郎

**強いものには巻かれるな！反骨精神**  
**本庄 繁長 長楽寺**  
 ◇福島県福島市丹場町3-10

上杉家で「上杉謙信」の次に馬術が上手いと言われた。謙信とは仲が悪く、「武田信玄」に協力して謙信に反乱したともある。軍師「傑山雲勝」の指揮のもと「庄内」に攻め込み占領するが、天下人「豊臣秀吉」の怒りにふれ、上杉を一時解雇。復帰すると「福島城」を「伊達政宗」の攻撃から守りぬいた。名刀「本庄正宗」を所有していた。

祭神 本庄繁長

**徹底的な現実主義者で生きる**  
**片倉 小十郎 傑山寺**  
 ◇宮城県白石市南町2丁目7-20

潮風という笛を吹いた戦場の音楽家。徹底的なリアリスト。血気盛んな政宗や「伊達成実」の火伏せ役だが、戦の最前線で指揮をふるう武将でもあった。身体が丈夫ではなかったとも伝えられている。「片倉のナシの木」や、墓標の「一本杉」と樹木のエピソードもある。政宗と小十郎の絆の深さは、婦女子からの人気が高い。

祭神 片倉小十郎

**No.2で力をふるう野心家をめざす**  
**直江 兼統 林泉寺**  
 ◇山形県山形市林泉寺

上杉の執政でNo.2。無口な君主「上杉景勝」のもと、代弁者としてとりしきった。そのため、一部の家臣からは上杉を私物化している。「関が原」は直江と「石田三成」の共謀とヤッカミをうけている。「毘沙門天」に仕える夜叉、羅刹天のように、敵や農民を無で斬りするなど非情な面と、書籍や仏像を大切にする超一流の文化人の面もある。

祭神 直江兼統

**良くも悪くも女性との出会いで開運**  
**最上 義光 光禅寺**  
 ◇山形県山形市鉄砲町2丁目5-7

山形藩初代藩主。政宗の伯父。大河「独眼竜政宗」で悪役だった為、印象が悪いが山形発展の基礎を築いた名君。妹「お東の方」、夫人「大崎夫人」、娘「駒姫」と、幸も不幸も女性とのエピソードが多い。「鮭」が好物と記録が残っており「鮭様」の愛称で呼ばれている。「鉄棒」を振り回し「乾坤一擲」 4倍の国力の上杉軍を追い払った。

祭神 最上義光

**捨てる君主あれば拾う君主あり**  
**蒲生 氏郷 興徳寺**  
 ◇福島県会津若松市米町2-12

人質であったが「織田信長」に認められ、信長の娘「冬姫」と結婚。「銀色の鯉の尾」の兜をかぶり、戦場では誰よりも先に飛び出した。「利休七哲」に数えられ茶道にも通じた。リストラされた武将を引き受け、活躍させるエピソードが多く、プロ野球の「野村再生工場」をもじって「工場長」とよばれている。会津鶴ヶ城を築城した。

祭神 蒲生氏郷



**南奥羽とは**  
 南奥羽(みなみおうう)とは、東北地方南部の宮城県・山形県・福島県の3県の総称である。鎌倉幕府滅亡以後、自立した国人等の動きが活発となっていった。戦国期には、伊達、輩名、上杉氏等の有力大名が出現してきた。

## 戦国浪漫 南奥羽戦国記 ポータルサイト

<http://www.sengoku-roman.com/>



- 発行元：福島商工会議所青年部
  - 特別協力：福島県東北地方振興局、山形県川西町、大河ドラマ「天地人」山形県推進協議会、米沢商工会議所、奥羽戦国観光連携会議
  - 武将イラスト：也 ■武将イラスト制作協力：山形県川西町 ■原稿：せんのすけ
- 〈注意事項〉  
 ※「開運ポイント」は歴史的事象からのイメージであり、ご利益等を保証したものではありません。  
 ※記載される全ての内容は著作権によって保護されており、著作権者の事前の許可無しの複製、転用、転載、変更などは禁じられております。

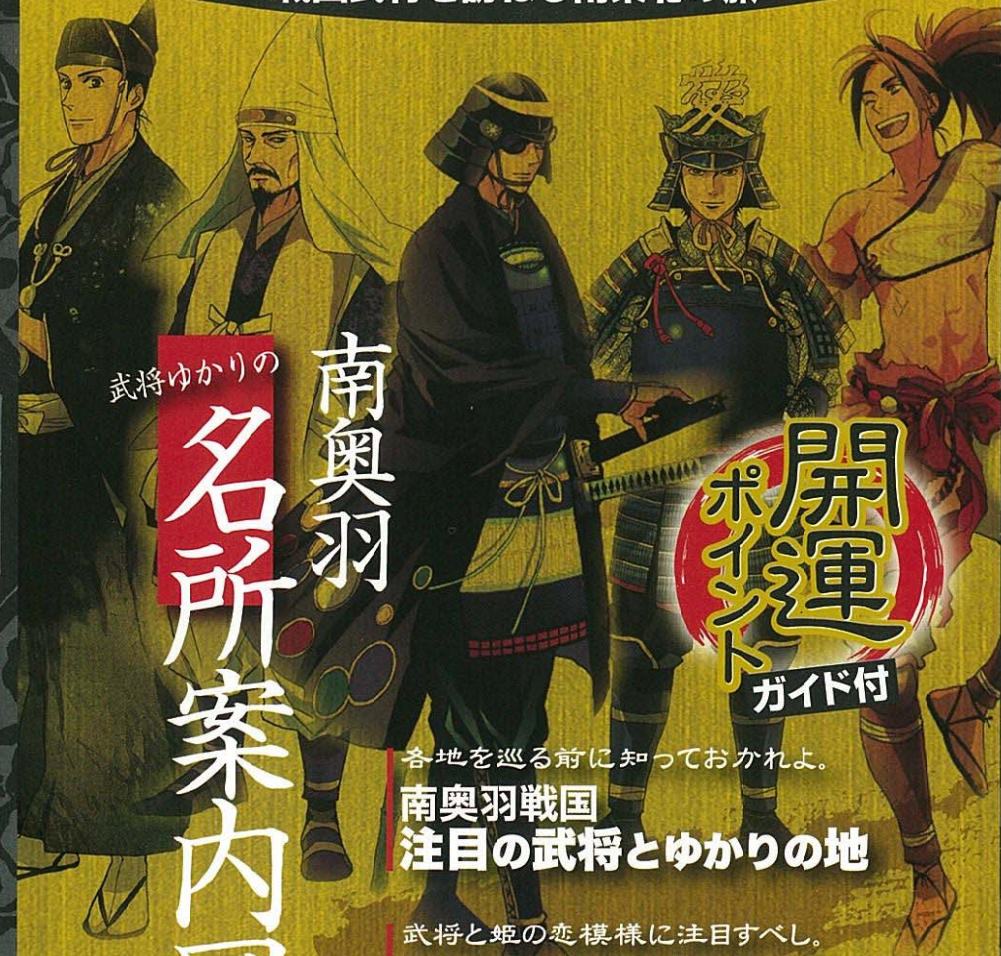
**原田宗時 川西ダリヤ園**  
 やまがた 川西ダリヤ園

山形県の南部、置賜の中央に位置する川西町。伊達氏が治めた時代には原田城、小松城の二城が置かれ、城跡などの史跡が今も残る。片倉小十郎景綱の父、祖父がこの地に采地を賜った記録や景綱が居城したとされる館跡「片倉館」が残る片倉ゆかりの地でもある。原田城址(置賜公園)に隣接する「やまがた川西ダリヤ園」は日本最大級の規模を誇り、8月から11月上旬にかけて650種10万本のダリヤが咲く観光名所である。

◇お問合わせ 川西町観光協会/TEL 0238-42-2112 川西ダリヤ園/山形県東置賜郡川西町大字上小松5095-11

# 戦国浪漫 南奥羽 戦国記

戦国武将を訪ねる南東北の旅



## 南奥羽 名所案内図

各地を巡る前に知っておかれよ。  
**南奥羽戦国 注目の武将とゆかりの地**

武将と姫の恋模様注目すべし。  
**愛情と美貌の御利益にあやかる おすすめ スポット**

# 南奥羽 名所案内図

我等が足跡の数々、心して巡られよ

開運ポイントガイド付



**山形城**  
◇山形県山形市霞城町1

**白石城**  
◇宮城県白石市益岡町1-16

**石雲寺(茂庭家霊屋)**  
◇宮城県大崎市松山千石字大櫓91  
父は70代で人取橋の戦いで戦死。子の綱元は92歳で死去。長生きした二人の木像がある茂庭家霊屋

**伊達小次郎墓**  
◇宮城県登米市津山町横山字地志貝  
謀反をはかった母の身代わりとなって殺され、7代にわたる勘当を受けた政宗の弟 小次郎。200年後の仙台藩八代目藩主に勘当を解かっている

**寛範寺(お東の方墓)**  
◇宮城県仙台市青葉区北山1丁目12-7  
情愛深く子の伊達政宗、兄・最上義光と多数の手紙をとりかわしている。身体をはって伊達政宗と最上義光の間に割って入り両家の平和をまもった

**仙台城跡(青葉城跡)**  
◇宮城県仙台市青葉区川内

**亀岡文殊堂**  
◇山形県東置賜郡高島町大字亀岡  
直江兼統、前田慶次郎らが、漢詩や和歌など100首を詠み奉納した亀岡文殊堂。学問の神様として知られ入学・入社試験など合格祈願者が絶えない

**小野川温泉**  
◇山形県米沢市小野川町  
古くから伊達家に愛され伊達政宗がケガをした際に癒した湯。上杉家からも米沢の奥座敷として愛された湯の里

**白布温泉(直江兼統鉄砲鍛造遺跡)**  
◇山形県米沢市大字関  
30万石に石高を減らされた上杉が、来るべき戦いに備えて密かに鉄砲をつくり、訓練していた秘密の里の温泉地

**土湯温泉(九山宗用墓)**  
◇福島県福島市土湯温泉町字菅ノ沢48  
上杉が開発させた土湯の湯。直江兼統の友であり上杉の学問・文学発展の中心人物であった九山宗用が眠る温泉

**三忠碑(金上盛備等)**  
◇福島県耶麻郡磐梯町長田  
滅亡する輩名に最後まで殉じた三人の武将 彼らの忠節を称えた会津魂は会津戊辰戦争へと続いていく

**鶴ヶ城**  
◇福島県会津若松市追手町

**赤館跡**  
◇福島県須賀川市  
磐城棚倉

**小峰城**  
◇福島県白河市郭内

**伝来寺**  
◇福島県伊達郡桑折町字道場前6  
天下に名声を轟かせる片倉の黒鐘の馬印。江戸時代片倉家であつたといわれた釣鐘が伝来寺にある

**梁川八幡宮**  
◇福島県伊達市梁川町八幡堂庭7  
伊達政宗伝説のはじまりの地。梁川八幡宮。15歳の時に初陣祈願をおこなって見事に勝利し、20代前半まで奥羽を席巻した

**相馬野馬追**  
◇相馬野馬追執行委員会 TEL.0244-22-3064  
毎年7月23日・24日・25日の3日間開催される神事で、国の重要無形民俗文化財。騎馬武者たちが砂塵の舞う中を走り抜ける姿はさながら戦国絵巻である

**同慶寺(相馬義胤墓)**  
◇福島県南相馬市小高区小高上広畑246  
相馬野馬追いに引き継がれる相馬魂。最後まで伊達政宗に意地をつらぬき家名を守った相馬義胤

**小浜城跡(大内定綱居城)**  
◇福島県二本松市小浜字下館  
下克上で大名になり、伊達と輩名の強国のはざままで立ち回り、昨日の敵は今日の味方と戦国を生きたいた奥羽の毒マムシ、大内定綱

**赤館跡(立花宗茂居城)**  
◇福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字呂久沢  
西国のNo1武将、豊臣方に忠義をつらぬいて関が原後に取り潰されるも、後にその忠義が徳川から評価され浪人から大名に復帰した立花宗茂

**長祿寺(大乘院墓)**  
◇福島県須賀川市北町3  
女城主として名門二階堂家を守るため、侵略してくる相手が甥の政宗だろうと一歩も退かず誇りある滅亡を選んだ大乘院

開運 — 武将と姫の恋模様注目すべし —  
**愛情と美貌の御利益にあやかる おすすめ スポット**

**花見ヶ丘廟(葦名盛隆墓)**  
◇福島県会津若松市花見ヶ丘2-7  
奥羽の妖艶なイケメン。その美貌は、女性のみならず男性も虜にし、嫉妬させた。美しさは二人の娘に受け継がれている

**飯坂温泉(飯坂館跡)**  
◇福島県福島市飯坂町古館4  
伊達政宗側室で、その美貌から政宗に寵愛をうけた猫御前。昔からかわらぬ熱い湯につかり、思い巡らせ綺麗になる

**裁松院(久保姫)の墓**  
◇宮城県仙台市泉区根白石字館下  
伊達晴宗に奥入り行列からさらわれた花嫁。二人の長男を久保姫の美家の養子にすることを条件に姫の父に許される。奥羽のシンデレラ

**宝積寺(伊達晴宗墓)**  
◇福島県福島市舟場町3-16  
奥入り行列から花嫁久保姫をさらった奥羽のプリンス伊達晴宗。戦国時代ではめずらしく浮気をせず、久保姫を一途に愛した。